

1. 経営理念

私たちは、日常を支える公共交通機関として、安全・安心を何よりも優先するとともに、質の高いサービスの提供にチャレンジし続けることで、お客様と福岡のまちの笑顔と元気を運びます。

2. 施策・事業の推進

地下鉄長期ビジョンにおける目標の「お客様満足度100%」の達成に向け、各施策・事業を推進していきます。

① 輸送力強化への取組み

(1) 七隈線の混雑緩和策

6両編成化

- 七隈線のさらなる混雑緩和に向け、6両編成化の検討を推進



車両の増備

- 七隈線の混雑緩和に向け、令和8～9年度に計4編成を増備

(1時間あたりの運行本数)

R7年度:18本 → R8:20本 → R9:21本

(2) 地下鉄の機能強化

- 都市交通基本計画の位置付けに沿って、福岡空港や姪浜橋本間の延伸の実現可能性の検討を実施



② 安全・安心の確保

(1) 土木構造物補修

- 定期的な点検や先進技術を活用した詳細点検の実施

(2) 車両検修設備更新

- 設備老朽化や新型車両(4000系)の検査等への対応のため、機器の更新及び新設を実施

(3) 4000系車両の導入

- 令和9年度までに18編成を導入
※令和8年度は5編成導入予定
(導入予定18編成中13編成完了)



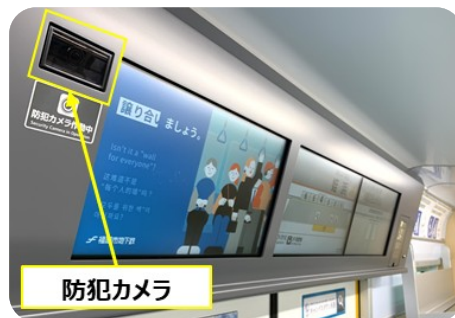
(4) 防犯対策の強化

リアルタイム車内防犯カメラの設置推進

- 車内犯罪の未然防止等のため、令和9年度までに全車両に導入予定
(令和8年度:11編成設置(累計34編成に導入))

駅構内防犯カメラの設置推進

- エスカレーターの天井等に防犯カメラを増設
(令和8年度:約170台増設(全駅合計約1,300台))



③ 快適で質の高いサービス

(1) ミッドナイト・トレインの運行

○日曜・祝日を除くすべての曜日で、営業時間の延長(終電時間の繰り下げ)を実施



(2) 駅の全館冷房化

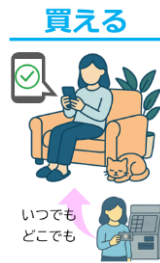
○令和8年度に、唐人町、赤坂駅、六本松駅で供用
○令和10年度までに地上駅を除く全駅で供用



(3) モバイル定期券の導入

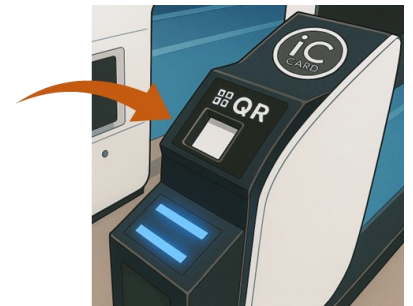
○令和10年春の導入に向け、事業者の選定とシステム開発を実施

定期券がスマートフォンで



(4) QR乗車券の導入

○令和10年度の改札機更新にあわせた導入に向け、システム構築などの準備を開始



(5) 駅のリフレッシュ

駅舎の内装改修

○室見駅、大濠公園駅において、駅の壁面・トイレの内装などの改修を実施



貝塚駅のリニューアル

○内外装改修を実施し、周辺のまちづくりと調和した駅舎へリニューアル

◆主な改修内容

- ・壁面緑化や木材を活用した内外装改修
- ・エスカレーターの増設



(6) 昇降機の増設

○バリアフリールートの実現等のため、昇降機の増設工事・設計を実施

◆令和8年度の実施内容

増設工事:福岡空港駅エレベーター(改札-ホーム)
実施設計等:大濠公園駅エレベーター(地上-改札)
中洲川端駅エレベーター(地上-改札)
乗り換えエスカレーター



(7) 車両優先スペースの改修

○床面・壁面カラーを青色に統一し明確化
○優先スペース改修車両を22→33編成に拡大



車内優先スペース改修後

小さなお子さまや
こども連れを追加

3. 事業・業務等の見直し

(1) 新技術等の活用による安全確保や検査体系等の見直し

- 車両に搭載された機器のデータを蓄積・整理・解析し、故障予知や寿命診断などへの活用を行う
- ヒューマンエラー防止につながる、AI等の新技術の導入に向けた研究を推進する
- 七隈線の自動運転機能アップデートに関する研究を推進する

(2) 業務効率化・省力化・生産性向上

- 本局庁舎外の職場環境改善により、さらなるペーパーレス化等による業務効率向上を図る
- 令和11年度の新財務会計システム導入に向けた検討・準備を進める

4. 人材育成・活性化、コンプライアンスの推進等

(1) 運輸・技術関係職員の人材確保・育成

運輸関係職員の人材の安定的確保

- 運輸業務従事者の計画的な採用に向け、SNSの活用や動画配信、学校訪問等の採用広報の充実

鉄道に関する技術関係職員の人材確保・育成

- 専任の技術指導教官の配置や専門機関・民間鉄道事業者への派遣研修、技術継承懇談会などによる人材育成に取り組み、技術力の継承・向上を図る。

(2) ワークライフバランスの推進

- フレックスタイム制、在宅勤務・モバイルワーク等の柔軟な働き方をこれまで以上に推奨するとともに、サテライトオフィスやモバイルワーク用端末の整備を進める
- 効率的・効果的な業務執行体制を確立するとともに、管理職が所属職員の時間外勤務や年休取得状況を適切に把握・管理することにより、時間外勤務の縮減や年休取得率のさらなる向上を目指す

(3) コンプライアンスの徹底

- 各種研修をはじめ、様々な機会です公務員倫理を遵守する意識付けを行い、不祥事撲滅に繋げる